

広報 住吉・城東

発行
住吉・城東地区
町づくり協議会
住吉・城東公民館
住吉 4-4-25
電 656-6570 6678

住吉・城東地区人口
令和 3,211 現在
人口 8,984(39人減)
世帯 4,687(23戸減)

住吉・城東地区

「新成人のお祝い」

令和3年1月3日

合計 65名
女性 41名
男性 24名
参加名



新型コロナウイルス感染症のため成人式式典が中止となりましたが、「新成人のお祝い」を実施しました。



「玄関前の撮影スポット」の壁飾りは児童館の先生方の制作です。

全員マスク着用の上、入り口で手指消毒、体温測定をして入館し、2階で受付。友達がそろったグループから写真屋さんで写真撮影をしていただきました。



公民館すくらむ学級の方々が制作し毎年1月3日に会場を華やかに飾っている壁面飾り。今回はホールと会議室1の「撮影スポット」を飾りました。



城東小学校、城東中学校の恩師の先生方からお祝いのメッセージをいただきました。



撮影の順番を待つ間流される地域の写真や卒業アルバム、姿を懐かしそうに見ても、会場は保護者の方も一緒に再会を祝う嬉しそうな笑顔であふれていました。一時はどうかと心配しましたが、皆さんの協力のおかげで無事実施できました。ありがとうございました。



～東日本大震災から10年～ 気の緩みに警戒を！

徳島防災デリバースタジオ代表 金山 利勝

今年、平成23年3月11日に発生した東日本大震災から10年の節目を迎えます。一方、私たちの住む徳島県は昭和21年に起きた「昭和南海地震」から75年余りが経過し、次の地震へのカウントダウンは確実に進んでいます。

東日本大震災の起きたあの日、東北地方の惨状をテレビで見た時、四国に住む私たちには「南海トラフ地震」が頭をよぎり、「明日は我が身」と思ったことと思います。しかし、あの日から10年が経つと、あの時に感じた緊張感や地震への備えの大切さが記憶から薄れつつあるように感じます。

東日本大震災は、私たちに「南海トラフ地震」に対する十分な備えを行うための猶予期間を与えてくれたと考えることもできます。

近い将来に起きると言われる「南海トラフ地震」に対する心構えと災害への備えを今後も維持できるかがこれからの正念場となるでしょう。

そこで、「地震に対する心構え」で心配されるのが気持ちの緩みです。頻繁に地震が起こる日本で怖いのは、人々が地震の情報に慣れっこになってしまうことです。「北海道で強い地震がありました」・「関東地方で地震が・・・」など日々地震情報が伝えられ、私たちはそれらの情報に慣れてしまい「地震が起きても大したことはないだろう」と備えをおろそかにするような気持ちが生まれるとしたら、それが一番怖いことです。

自然災害など自分にとって何らかの被害が予想される状況下にあっても、それを正常な日常生活の延長上の出来事として捉えてしまい、都合の悪い情報を無視するなど「自分は大丈夫」「まだ大丈夫」などと過小評価したりしてしまう人間の特性と言われる「正常性バイアス」に陥ることなく危機感を持っていたいと思います。

よく言われる寺田寅彦の「天災は忘れた頃に来る」という伝説の警句をここでもう一度思い出し、気を引き締めておきたいものです。



連絡先
川原 090-8282-4442
コミセン088-656-6570

この度、新たな会員の募集をさせていただきます。後世に残るさくら緑地を一緒に育ててまいりませんか？ 男女年齢は問いませんので、ぜひお気軽にご友人にもお声掛け頂き、ご参加を心よりお待ちしております。

「さくら緑地を育成する会」

新会員募集！

大岡川さくら緑地を育成する会

会長 川原 孝文

2011年3月、大岡川東岸に「紅豊（べにゆたか）」桜を10本植樹してちょうど10年目の春が近づいて参りました。

2018年2月、地域の新たなシンボルとし11本の桜を植樹。合計21本の素晴らしい桜並木遊歩道を「さくらキラキラロード」と名付け、会員の皆様とともに年に数回の除草作業・落ち葉拾い、花見の会等を催し、地域交流の会として活動を続けています。



新型コロナウイルス感染症に関連した差別や虐待は決してあってはなりません！

「コロナ対策」：新型コロナウイルスを怖い！と感じ、嫌い、防御意識を持つ
「コロナ差別」：ウイルスに感染した人を怖い！と感じ、防御意識から感染した人を攻撃する
今のあなたはどうか？ ちょっと考えてみませんか？

地域発見！ Part47 蓮花寺の石碑 「屠腹遺蹟」



蓮花寺門前に2基、境内ソテツ前に白色の石碑1基がみえる

住吉神社の南隣にある蓮花寺の山門前に2基、そして境内巨大ソテツの樹木前に1基の石碑が建っている。山門前の右側石碑に刻まれた文字の判読は困難であるが、左側の石碑には「庚午志士切腹遺蹟」と読める。さらにソテツ前の高さ2mに及ぶ花崗岩製の石碑には、昭和5年5月の建立（事件から60年後にあたる）とあり、「明治庚午九月（ここに小川錦司など4名の氏名が刻まれている）屠腹遺蹟」と記されている。

明治3年9月、明治新政府によって旧阿波藩の藩士4名がこの寺院境内で屠腹（切腹）させられた。このほか、吉野本町の万福寺で4名、東京にあった阿波藩邸で2名が切腹。ほかに八丈島などへの流罪27名など襲撃を敢行した旧阿波藩藩士に厳しい処罰が行われた。また、稲田家関係者約550名は士族編入が認められたが、当時極地と言われた北海道への強制移住を命じられた。

事件はおおよそ次のようなものであった。明治の新時代になって、藩籍奉還にともない、武士の身分補償が行われた。旧藩主蜂須賀家の直屬家臣は「士族」とし、淡路の城代で阿波藩の家老であった稲田家に仕えていた家臣は著しい不利益となる「卒族」とされた。不服の稲田家の旧家臣は士族に編入のためとして旧阿波藩から分藩独立運動を起こした。これに旧阿波藩の一部家臣が激怒し、明治3年（1870年）5月13日早朝、淡路の稲田家や家臣の家などを襲撃し多数の死傷者や家屋焼失など大惨事となった。明治3年が「庚（かのえ）・午（うま）」の年であったので、庚午事変（こうごじへん）と言われる。

襲撃にかかわった首謀者に明治政府は「斬首刑」を命じたが、当時の徳島藩知事であった蜂須賀茂韶は「この若者たちは、藩の名譽維持のために行動した」と明治政府に懇願し、武士としての矜持を保つ「切腹刑」とされたと言う。さらに切腹場所として蓮花寺が選ばれたのも、藩祖蜂須賀家政以来蜂須賀家と格別の因縁が深い寺であったからであろう。明治政府は明治23年（1889年）大日本帝国憲法発布時の大赦で全員無罪としている。当時の庶民も「志士」「義人」と捉えたのであろう。

石碑は双方にとって不幸な歴史とともに、藩のために生命をかけて行動した証として建っている。（文責 中島和夫）

健康と生きがいづくりに スポーツウエルネス吹矢を 始めませんか (4月から月1回程度 第4金曜日午後)

- ♪ スポーツ吹き矢は5、10m先の的をめがけて息を使つて矢を放つスポーツです
- ♪ 高い運動能力や腕力はいりません
- ♪ 誰でも性別、年齢を問わず楽しめます
- ♪ ゲーム感覚で楽しみながらできるスポーツです
- ♪ スポーツ吹き矢呼吸法による健康効果（血管の詰まりや動脈硬化の予防、ストレスの解消、脳の老化防止など）が期待されます
- 講師は 徳島県スポーツウエルネス吹矢協会指導員

* 参加希望の方は公民館まで

吹き矢での飛沫についてはほとんど出ないという科学的実証がされています

令和元年度 徳島県公民館連絡協議会 優良公民館表彰 広報紙コンクール 優秀賞 受賞しました

児童館から(088-611-1125)

桃の節句が訪れ、桜もほころぶ季節になりましたね。「きらきらくらぶ」や「ゲームの日」などの行事を楽しみに来館してくれる子どもたちも増えてきました。3月4月は卒業、入学とあわただしい季節ですが、児童館にたくさんのお子たちが遊びに来てくれることを楽しみにしています。



【きらきらくらぶ】親子で楽しく遊びました



【小学生ゲームの日】じゃんけん遊び等を楽しみました

3月 4月 の予定

| | | |
|----|-----------------------|-------------------------|
| 3月 | きらきらくらぶ 15日(月)11時10分～ | フォトフレーム作り 11日(木)～13日(土) |
| | 乳幼児お誕生会 22日(月)11時10分～ | 小学生ゲームの日 27日(土)15時～ |
| 4月 | きらきらくらぶ 19日(月)11時10分～ | 小学生ゲームの日 24日(土)15時～ |
| | 乳幼児お誕生会 26日(月)11時10分～ | |

* すいとう持参、マスク着用をお願いします 場合によっては人数制限をすることがあります

いずみ号 3月29日(月) 4月22日(木) 16時～